

1. F-1断層の活動性評価に関する各種観察・分析・測定結果(データ集)

1.1 地層区分関連

1.2 活動性評価関連

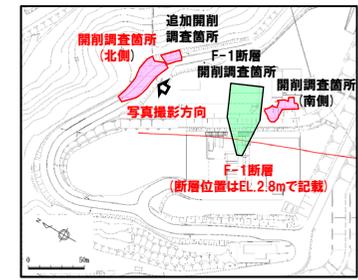
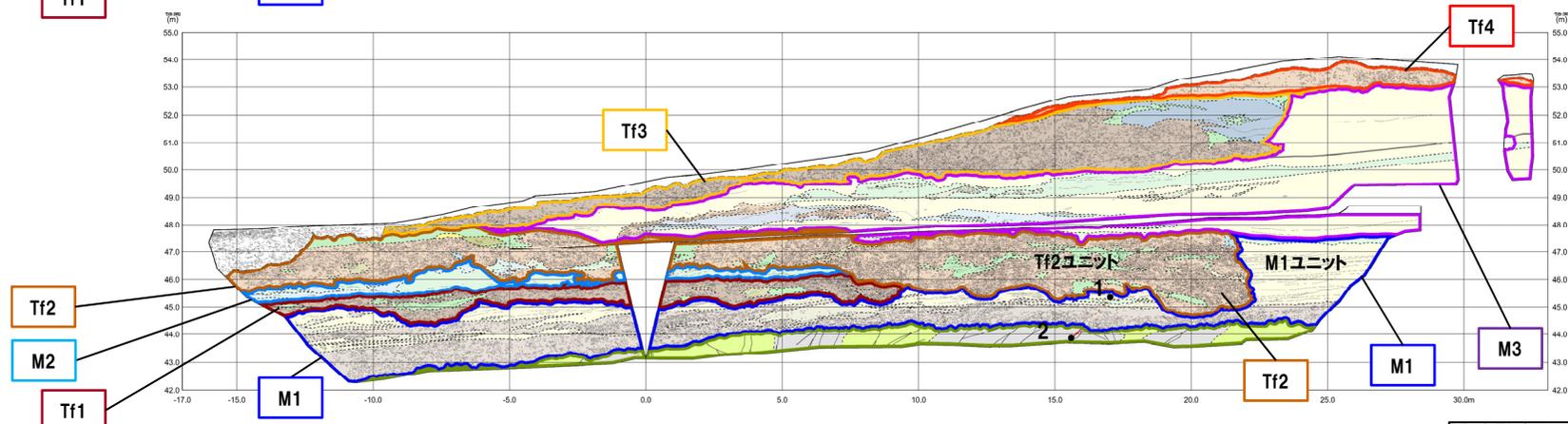
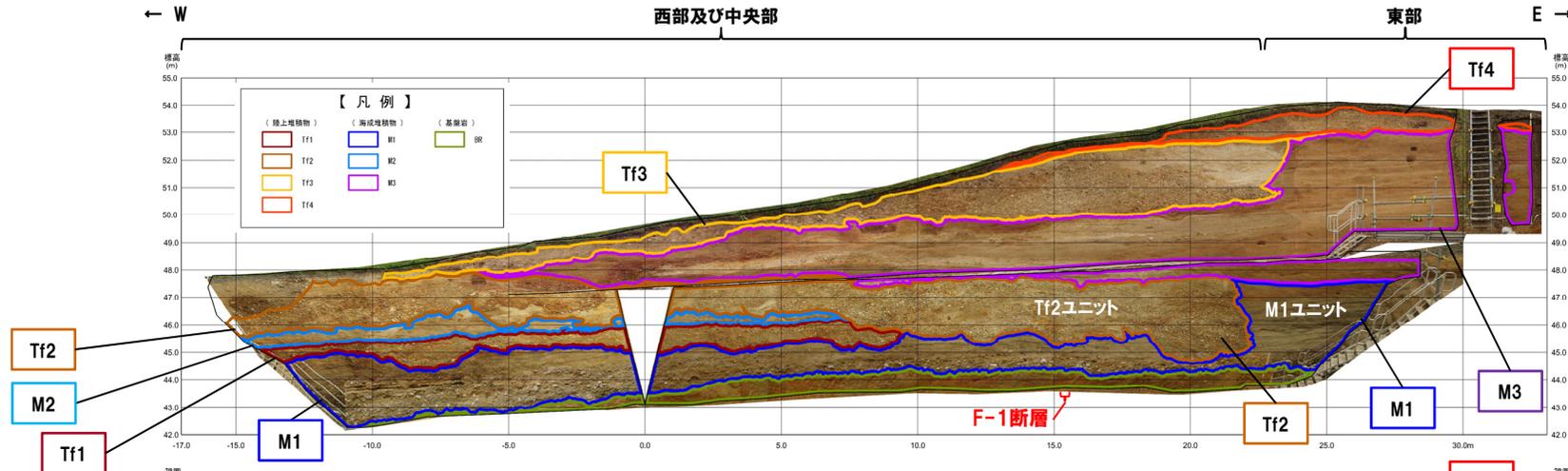
余白

開削調査箇所（北側）

開削調査箇所(北側)

①-1 開削調査箇所(北側)北側壁面 写真及びスケッチ

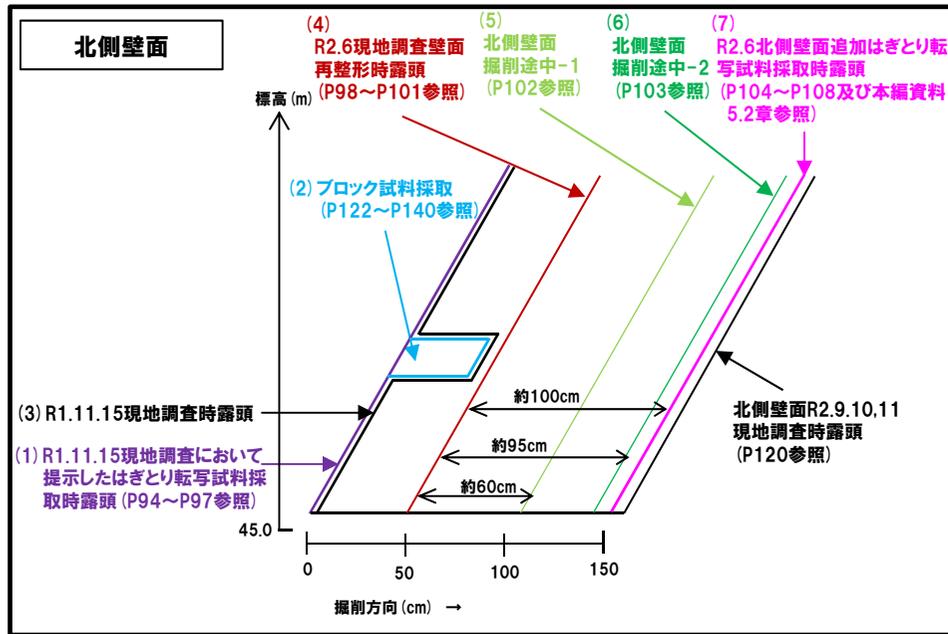
一部修正 (R2/4/16審査会合)



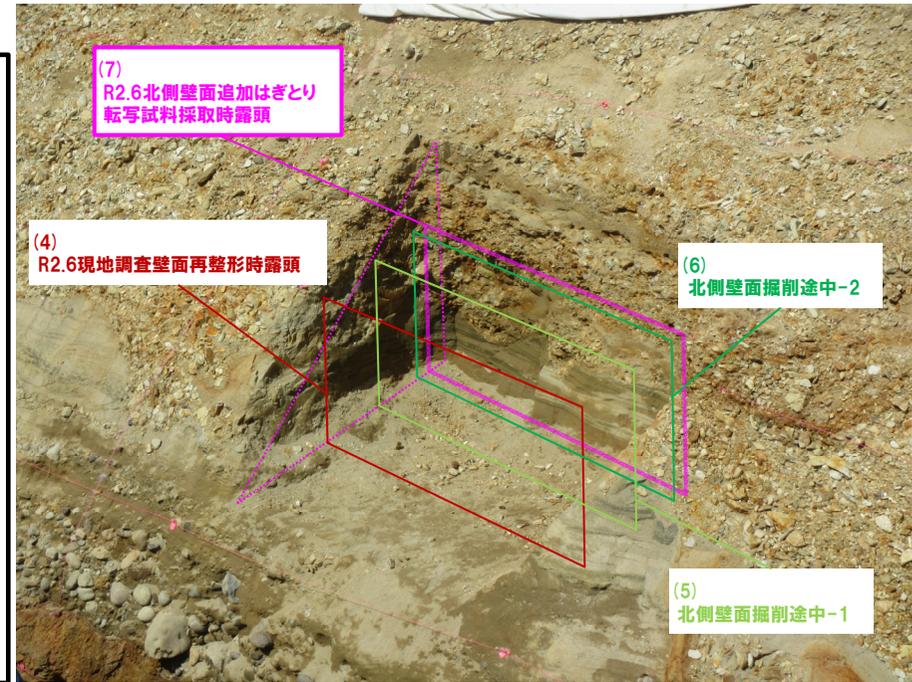
開削調査箇所(北側)北側壁面 写真及びスケッチ

開削調査箇所(北側)

①-2 小断層上端付近の詳細観察-北側壁面はぎとり転写試料作成位置-

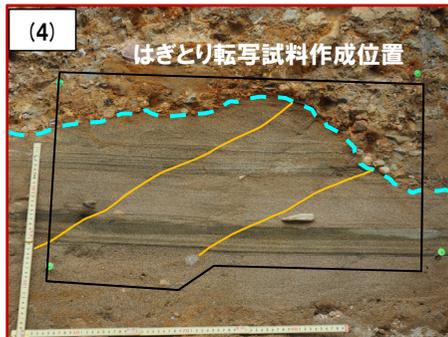


北側壁面 模式断面図



北側壁面 掘削状況 (R2.9撮影)

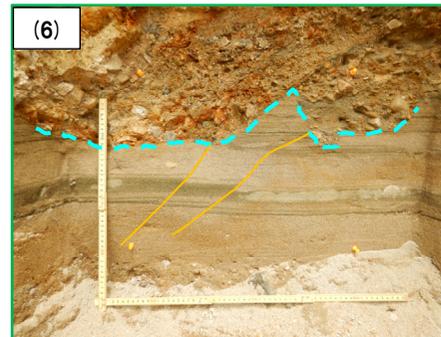
— : 小断層
 - - - : Tf2ユニットの基底面



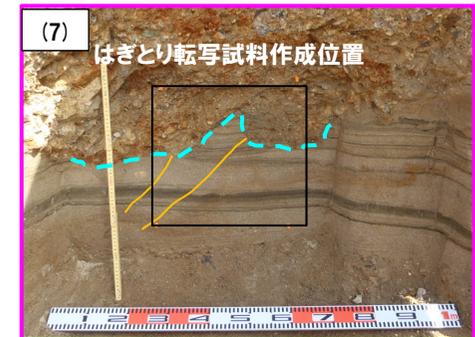
R2.6現地調査壁面再整形時露頭 (P98~P101参照)



北側壁面掘削途中-1 (P102参照)



北側壁面掘削途中-2 (P103参照)



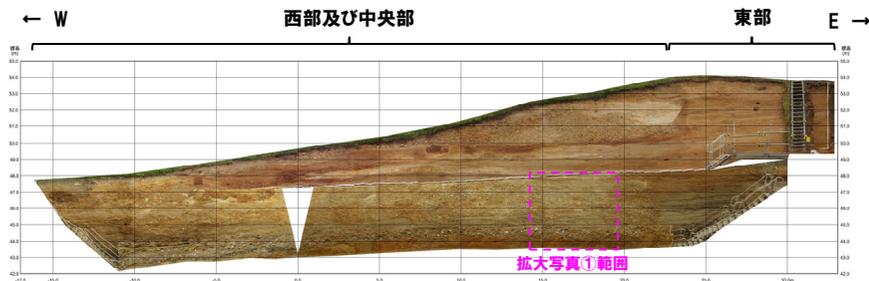
R2.6北側壁面追加はぎとり転写試料採取時壁面 (P104~P108及び本編資料5.2章参照)

開削調査箇所(北側)

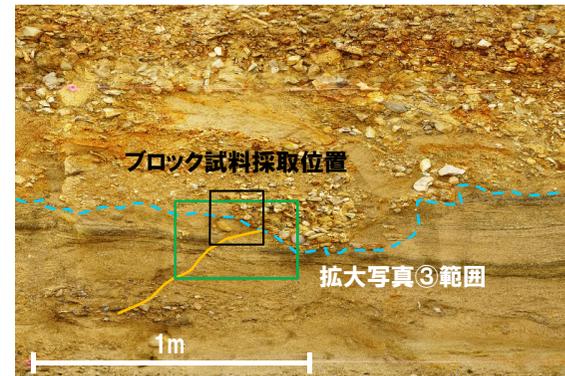
①-3 小断層上端付近の詳細観察-R1.11.15現地調査において提示したはぎとり転写試料(1/4) -

一部修正 (R1/11/7審査会合)

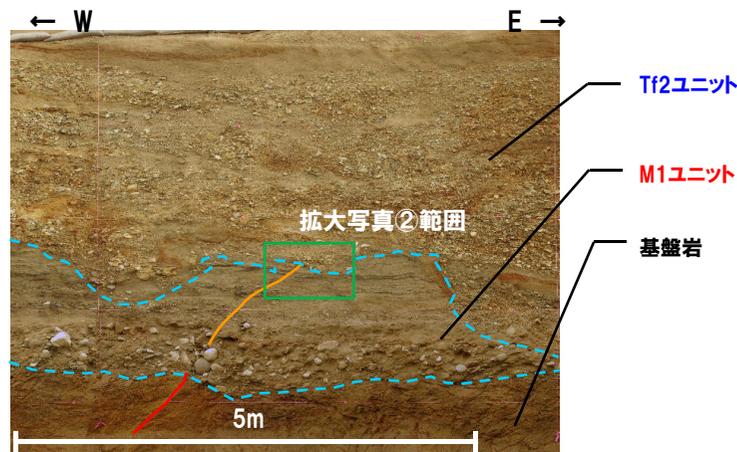
○Tf2ユニットにおける小断層の影響を確認するため、M1ユニット及びTf2ユニットの層相境界付近において、はぎとり転写試料を用いた地質構造の詳細観察を実施した(断面位置は、前頁参照)。



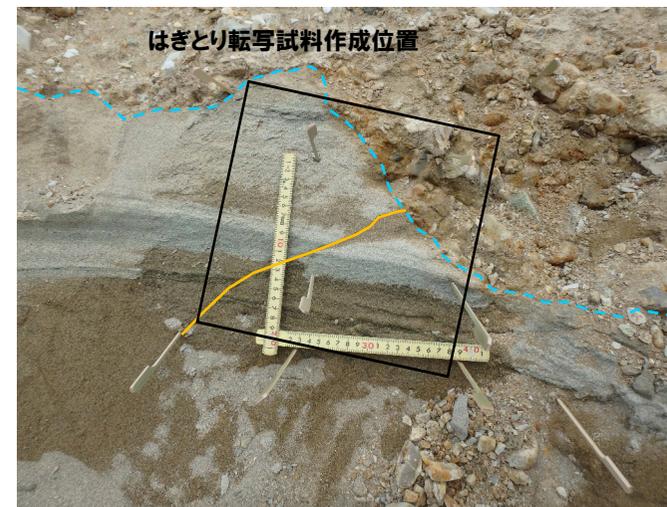
開削調査箇所(北側)北側壁面写真



拡大写真②(解釈線あり)



拡大写真①(解釈線あり)

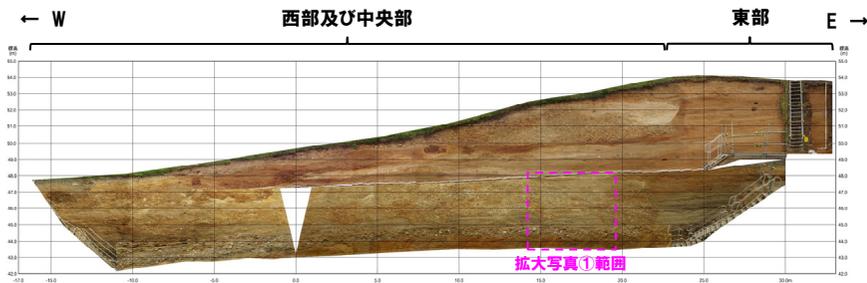


拡大写真③(解釈線あり)

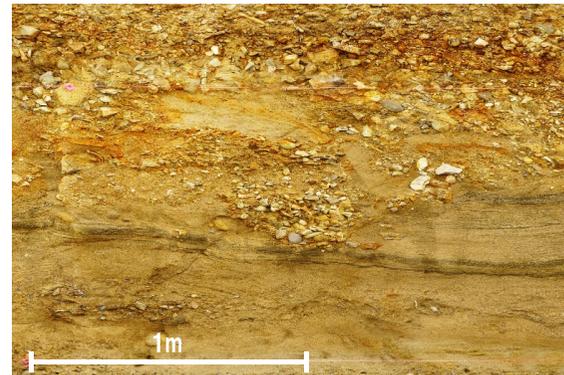
開削調査箇所(北側)

①-3 小断層上端付近の詳細観察-R1.11.15現地調査において提示したはぎとり転写試料(2/4) -

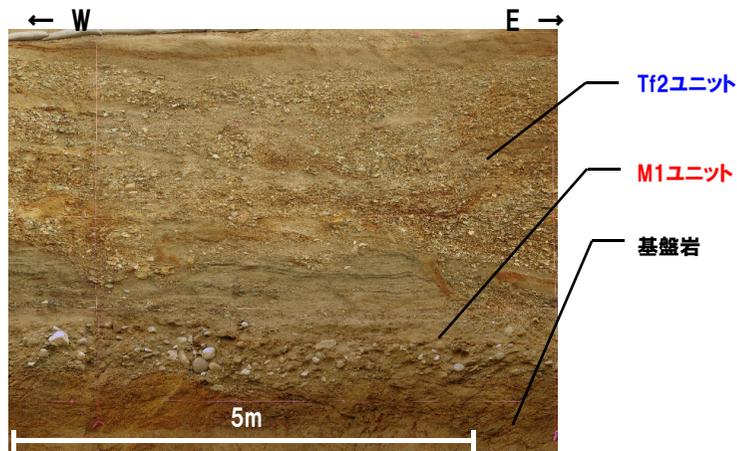
一部修正(R1/11/7審査会合)



開削調査箇所(北側)北側壁面写真



拡大写真②(解釈線なし)



拡大写真①(解釈線なし)



拡大写真③(解釈線なし)

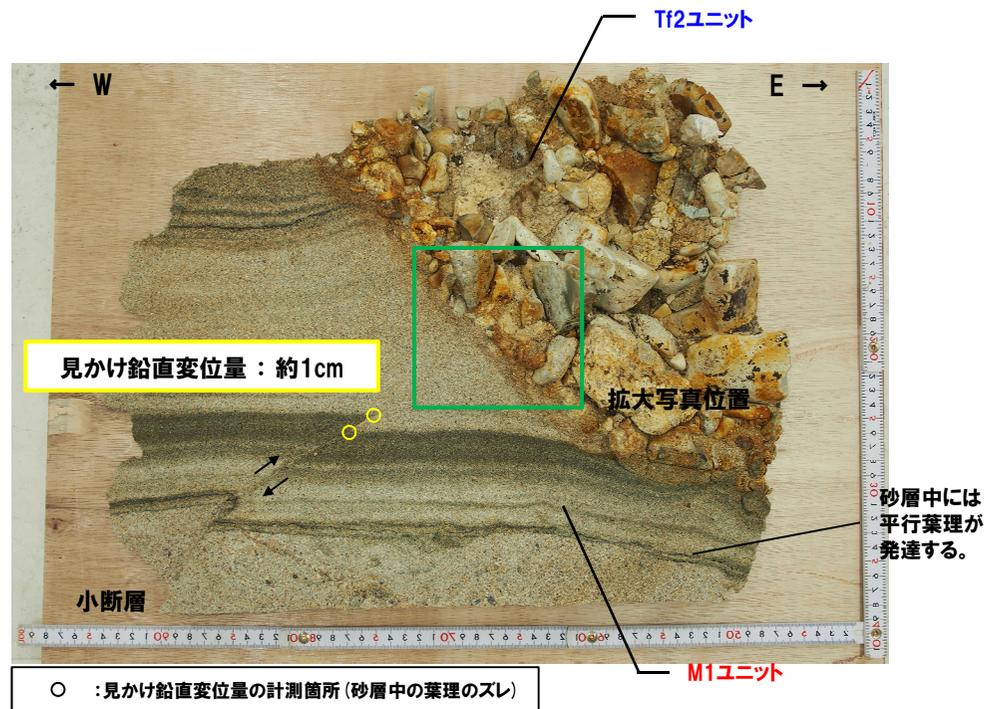
開削調査箇所(北側)

①-3 小断層上端付近の詳細観察-R1.11.15現地調査において提示したはぎとり転写試料(3/4) -

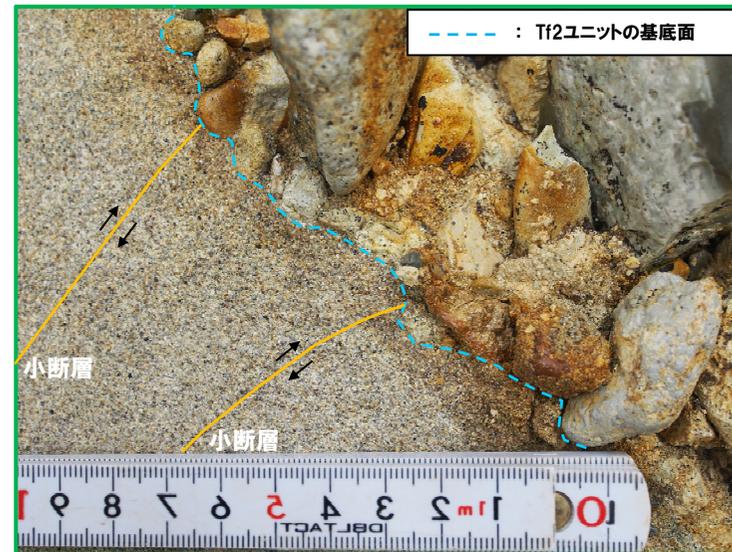
一部修正 (R1/11/7審査会合)

【観察結果】

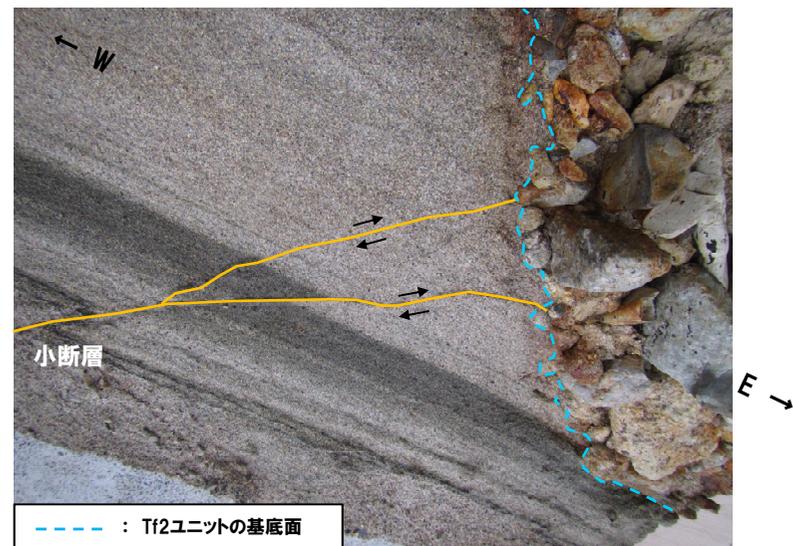
- F-1断層に関連する小断層は、M1ユニットに変位を与えており、Tf2ユニットの基底面(チャネル壁)直下まで剪断面が連続し、変位が認められる。
- Tf2ユニットの基底面(チャネル壁)に、小断層による変位は認められない。
- Tf2ユニット中に、剪断面は認められない。
- Tf2ユニット中の礫は、基底面(チャネル壁)に沿って比較的定向配列しており、堆積構造の乱れ等は認められない。



はぎとり転写試料 写真(左右反転)(解釈線あり)



小断層上端付近 拡大写真(左右反転)(解釈線あり)



はぎとり転写試料 写真(斜め上方より撮影, 左右反転)(解釈線あり)

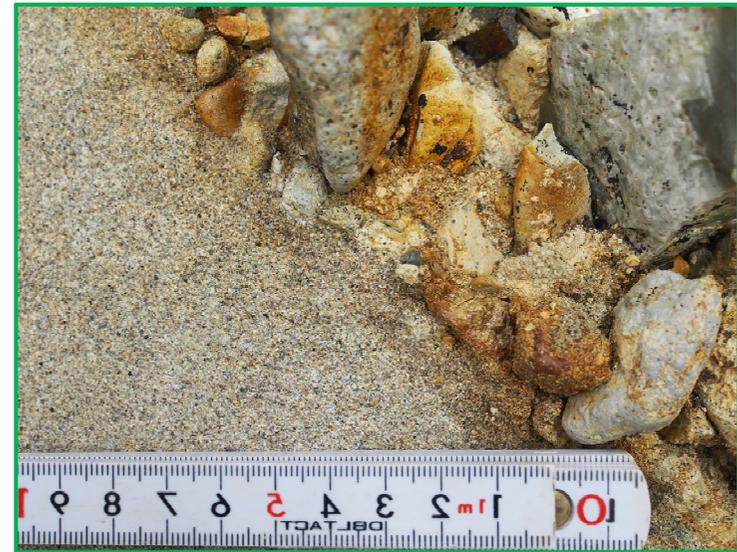
開削調査箇所(北側)

①-3 小断層上端付近の詳細観察-R1.11.15現地調査において提示したはぎとり転写試料(4/4) -

一部修正 (R1/11/7審査会合)



はぎとり転写試料 写真(左右反転)(解釈線なし)



小断層上端付近 拡大写真(左右反転)(解釈線なし)



はぎとり転写試料 写真(斜め上方より撮影, 左右反転)(解釈線なし)

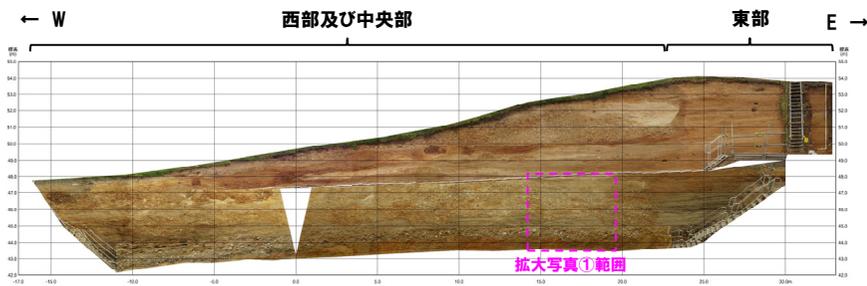
開削調査箇所(北側)

①-4 小断層上端付近の詳細観察-R2.6現地調査壁面再整形時露頭(1/4) -

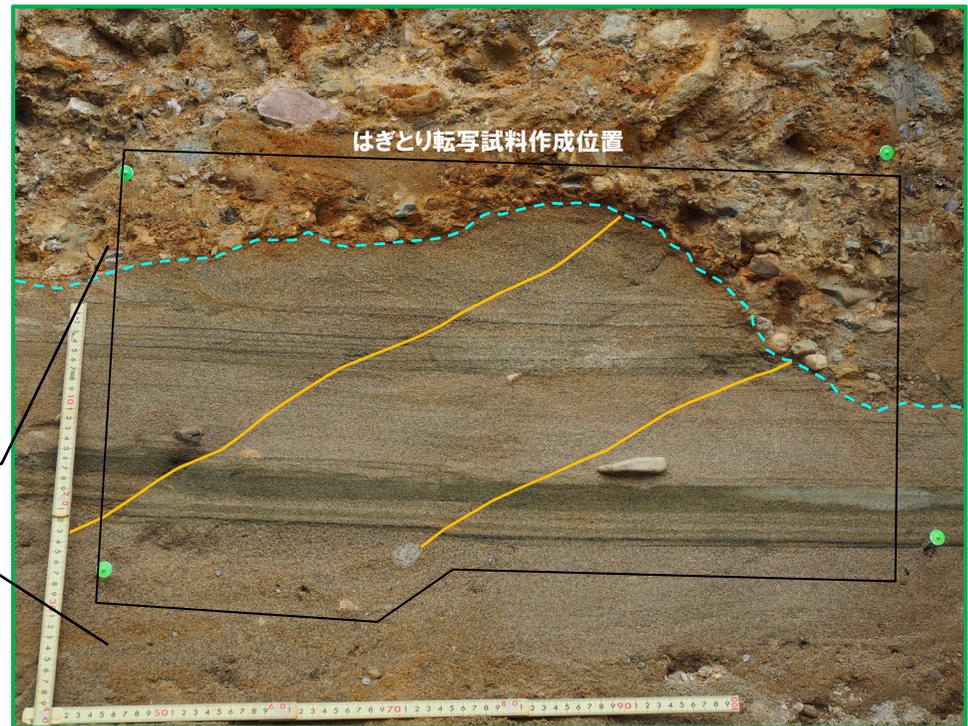
一部修正 (R2/8/7審査会合)

○R1.11.15現地調査時の壁面から奥行き方向に掘削を行い、M1ユニット及びTf2ユニットの層相境界付近において、露頭観察及びはぎとり転写試料を作成し、地質構造の観察を実施した。

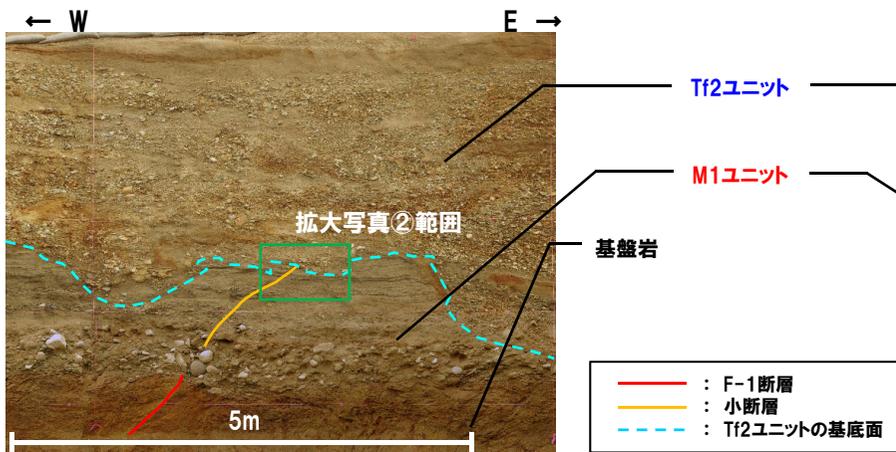
○本はぎとり転写試料は、R1.11.15現地調査時の壁面を再整形した断面において作成したものである(断面位置はP93参照)。



開削調査箇所(北側) 北側壁面写真



拡大写真②(解釈線あり)



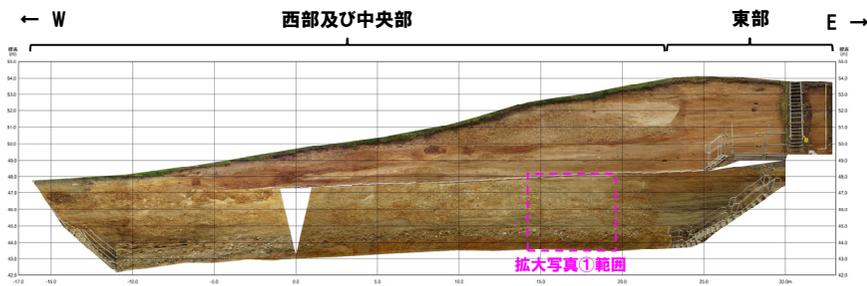
拡大写真①(解釈線あり)

拡大写真①は、R1.11.15現地調査において提示したはぎとり転写試料作成前の写真を案内図として用いている。

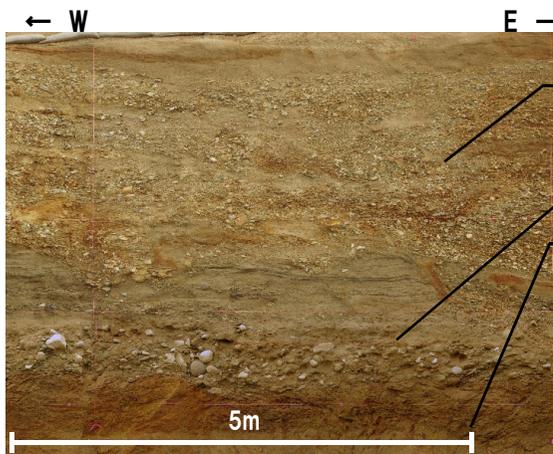
開削調査箇所(北側)

①-4 小断層上端付近の詳細観察-R2.6現地調査壁面再整形時露頭(2/4) -

一部修正 (R2/8/7審査会合)



開削調査箇所(北側) 北側壁面写真



拡大写真①(解釈線なし)



拡大写真②(解釈線なし)

拡大写真①は、R1.11.15現地調査において提示したはぎとり転写試料作成前の写真を案内図として用いている。

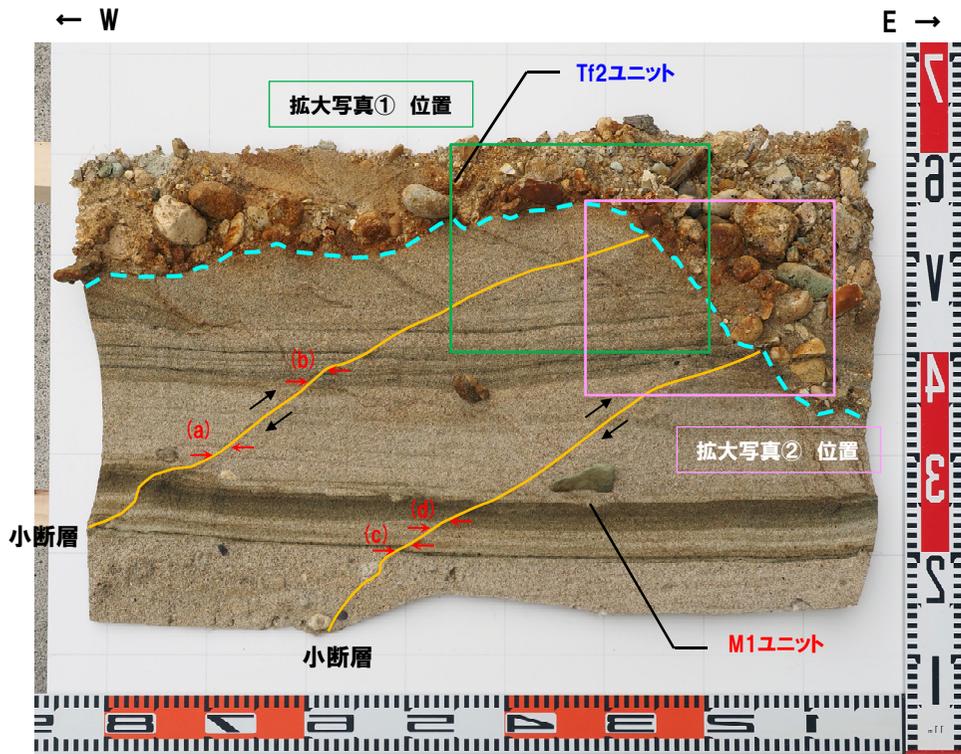
開削調査箇所(北側)

①-4 小断層上端付近の詳細観察-R2.6現地調査壁面再整形時露頭(3/4) -

一部修正(R2/8/7審査会合)

【観察結果】

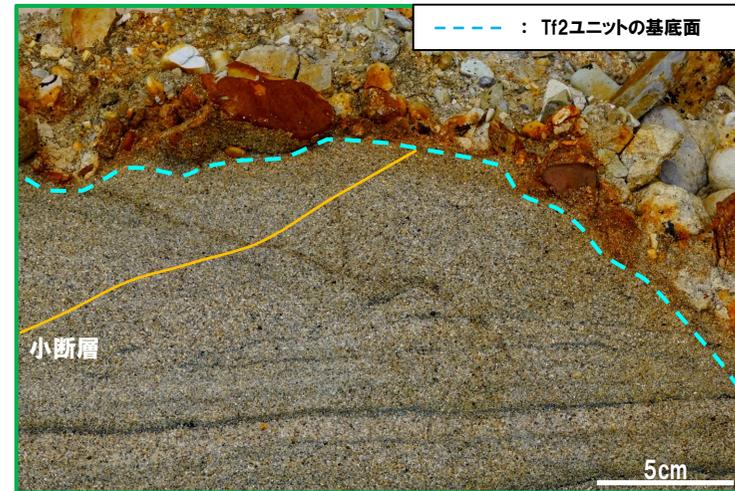
- F-1断層に関連する小断層は、M1ユニットに変位を与えており、Tf2ユニットの基底面直下まで剪断面が連続し、変位が認められる。
- 小断層に顕著な見かけ変位量の減衰は認められない。
- Tf2ユニットの基底面に、小断層による変位は認められない。
- Tf2ユニットに、剪断面は認められない。



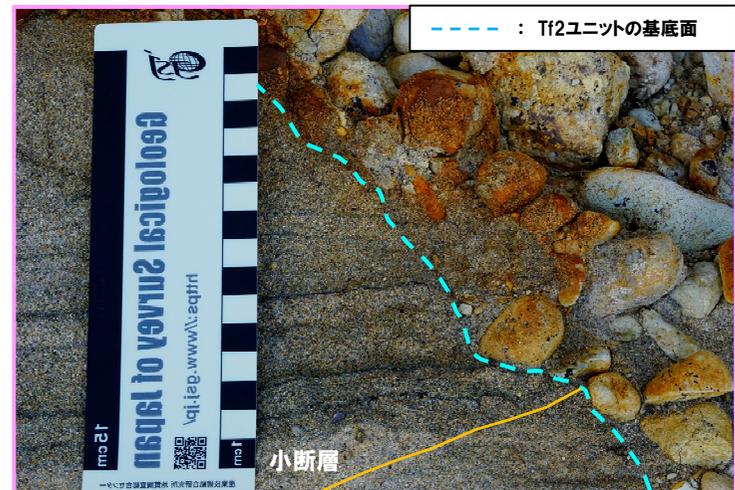
はぎとり転写試料 写真(左右反転)(解釈線あり)

- 見かけ変位量：(a) 約12mm
 (b) 約10mm
 (c) 約8mm
 (d) 約9mm

← : 見かけ変位量の計測箇所(砂層中の葉理のスレ)



小断層上端付近 拡大写真①(左右反転)(解釈線あり)

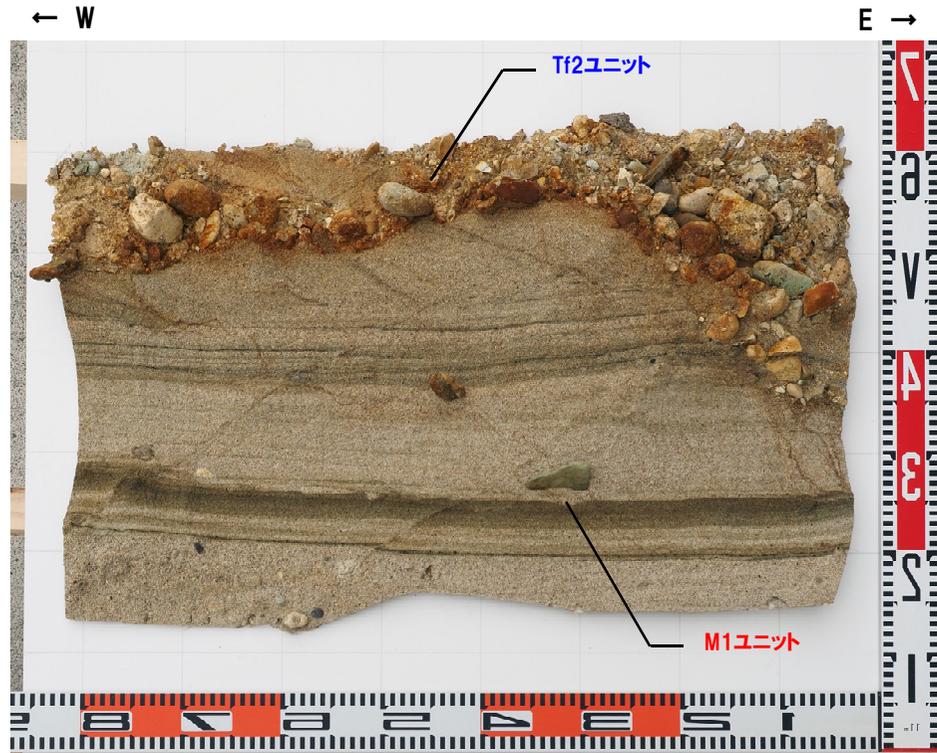


小断層上端付近 拡大写真②(左右反転)(解釈線あり)

開削調査箇所(北側)

①-4 小断層上端付近の詳細観察-R2.6現地調査壁面再整形時露頭(4/4) -

再掲(R2/8/7審査会合)



はぎとり転写試料 写真(左右反転)(解釈線なし)



小断層上端付近 拡大写真①(左右反転)(解釈線なし)



小断層上端付近 拡大写真②(左右反転)(解釈線なし)

開削調査箇所(北側)

①-5 小断層上端付近の詳細観察-北側壁面掘削途中-1-

○北側壁面掘削途中-1は、R1.11.15現地調査時の壁面から約60cm奥行き方向における壁面状況である(断面位置は、P93参照)。

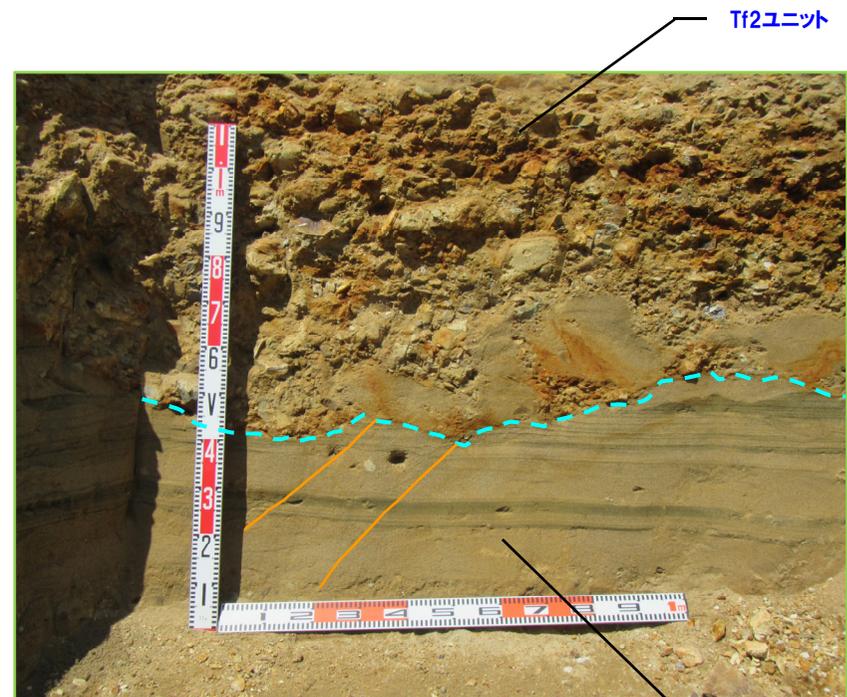
【観察結果】

- F-1断層に関連する小断層は、M1ユニットに変位を与えており、Tf2ユニットの基底面直下まで剪断面が連続し、変位が認められる。
- Tf2ユニットの基底面に、小断層による変位は認められない。
- Tf2ユニット中の比較的細粒な層相を呈する箇所に、剪断面は認められない。



壁面写真(解釈線なし)

M1ユニット



壁面写真(解釈線あり)

M1ユニット

— : 小断層
- - - : 層相境界

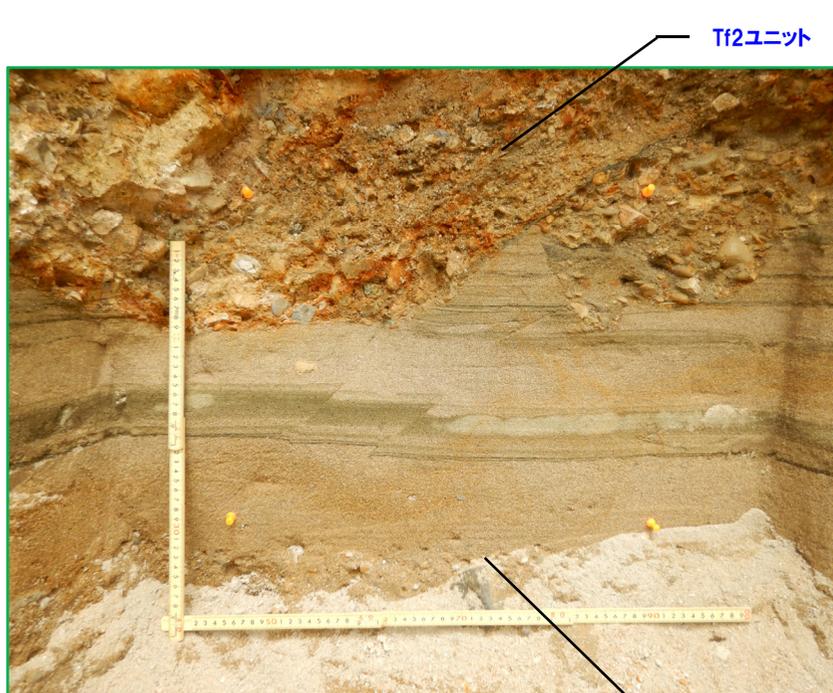
開削調査箇所(北側)

①-6 小断層上端付近の詳細観察-北側壁面掘削途中-2-

○北側壁面掘削途中-2は、R1.11.15現地調査時の壁面から約95cm奥行き方向における壁面状況である(断面位置は、P93参照)。

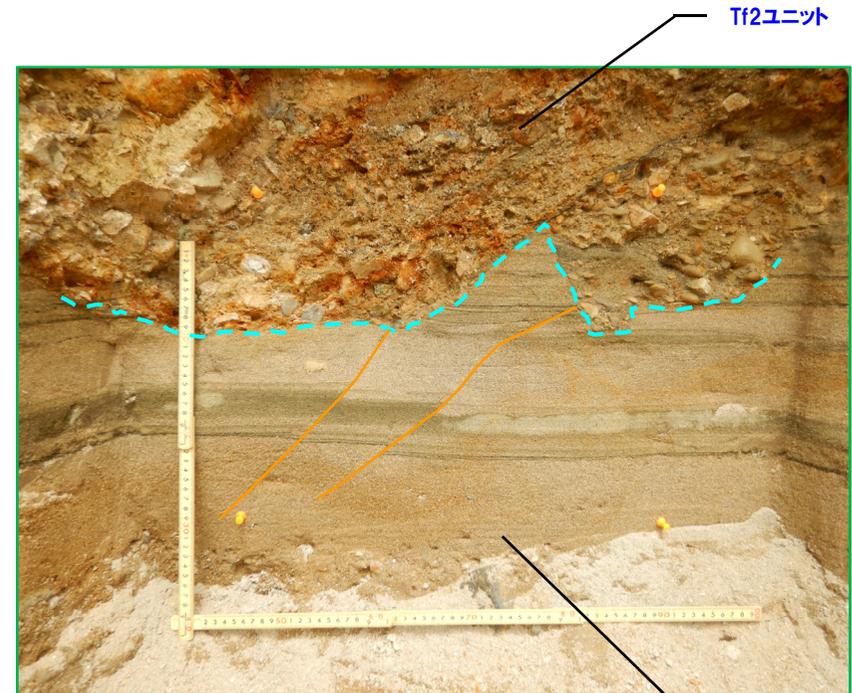
【観察結果】

- F-1断層に関連する小断層は、M1ユニットに変位を与えており、Tf2ユニットの基底面直下まで剪断面が連続し、変位が認められる。
- Tf2ユニットの基底面に、小断層による変位は認められない。
- Tf2ユニット中の比較的細粒な層相を呈する箇所に、剪断面は認められない。



壁面写真(解釈線なし)

M1ユニット



壁面写真(解釈線あり)

M1ユニット

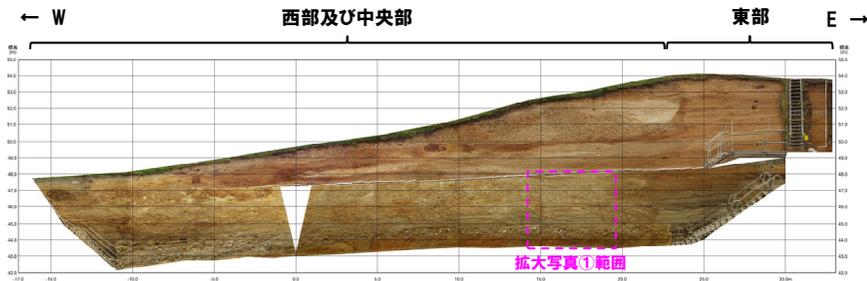
— : 小断層
 - - - : 層相境界

開削調査箇所(北側)

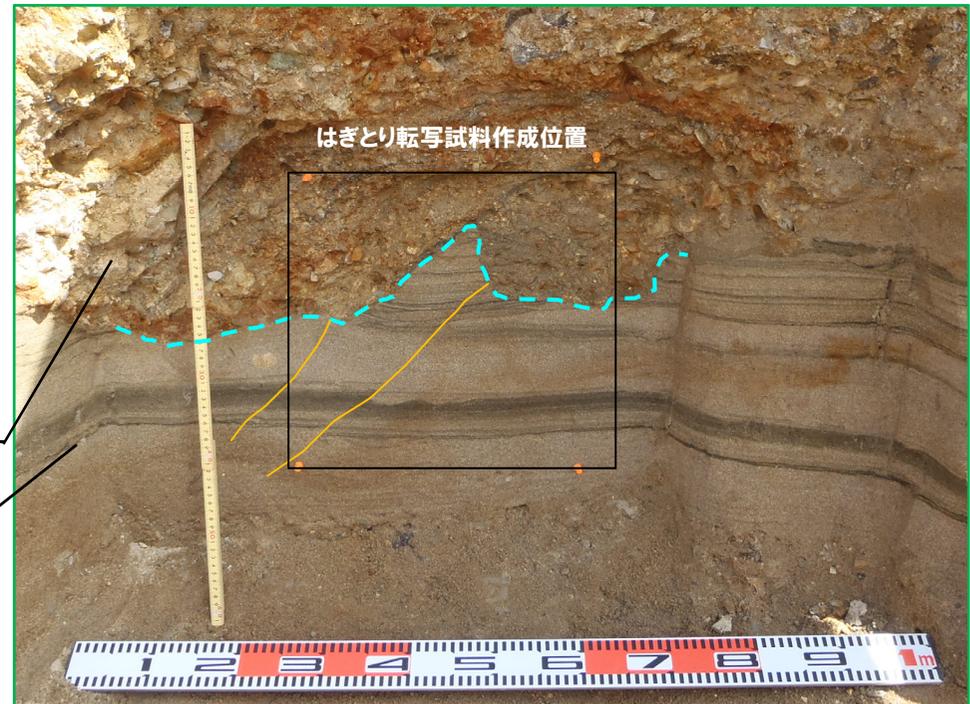
①-7 小断層上端付近の詳細観察-北側壁面追加はぎとり転写試料(1/5)-

一部修正 (R2/8/7審査会合)

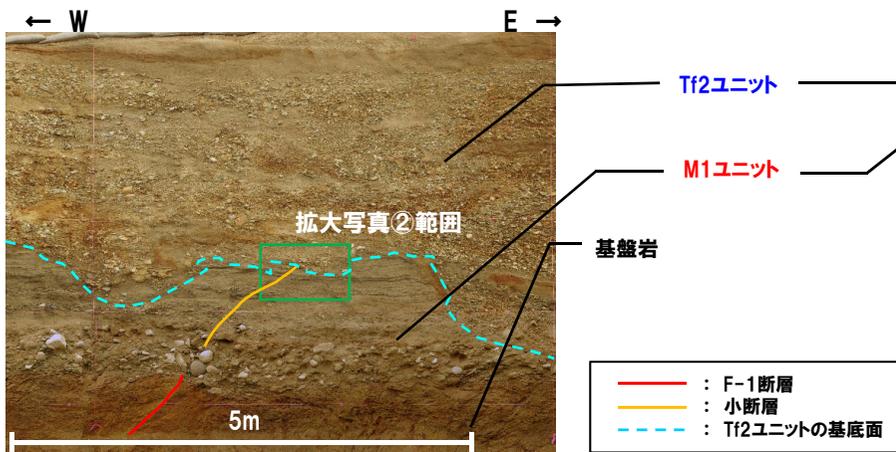
- R1.11.15現地調査時の壁面から奥行き方向に掘削を行い、M1ユニット及びTf2ユニットの層相境界付近において、露頭観察及びはぎとり転写試料を作成し、地質構造の観察を実施した。
- 北側壁面追加はぎとり転写試料は、R1.11.15現地調査時の壁面から約100cm奥行き方向で作成したものである(断面位置は、P93参照)。
- 本はぎとり転写試料は、M1ユニットにおいて、小断層による葉理のズレがTf2ユニットの基底面直下で認められること及びTf2ユニットは砂礫層であるため、Tf2ユニットの基底面直下の変位量が小さい場合においても、小断層による変位・変形の有無が確認できる比較的細粒な層相を呈する断面である。



開削調査箇所(北側)北側壁面写真



拡大写真②(解釈線あり)



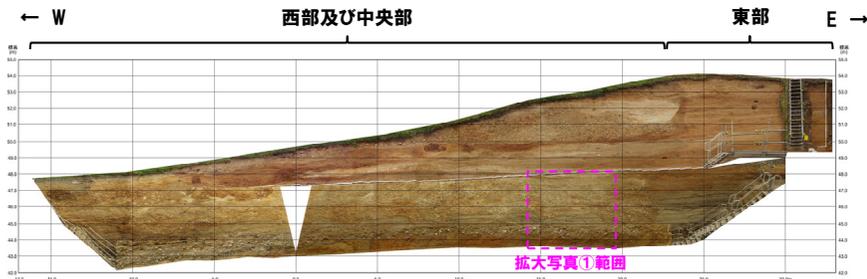
拡大写真①(解釈線あり)

拡大写真①は、R1.11.15現地調査において提示したはぎとり転写試料作成前の写真を案内図として用いている。

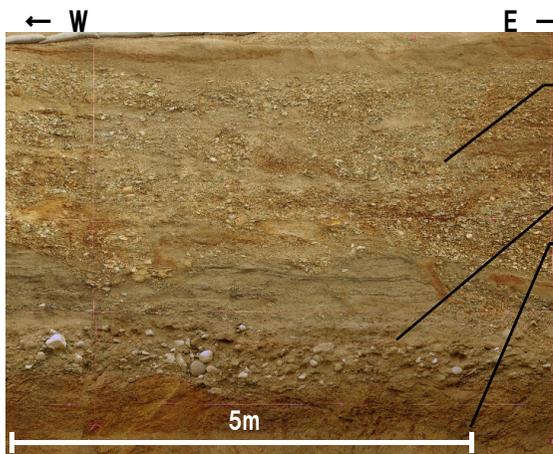
開削調査箇所(北側)

①-7 小断層上端付近の詳細観察-北側壁面追加はぎとり転写試料(2/5) -

一部修正(R2/8/7審査会合)



開削調査箇所(北側)北側壁面写真



拡大写真①(解釈線なし)

Tf2ユニット
 M1ユニット
 基盤岩



拡大写真②(解釈線なし)

拡大写真①は、R1.11.15現地調査において提示したはぎとり転写試料作成前の写真を案内図として用いている。

開削調査箇所(北側)

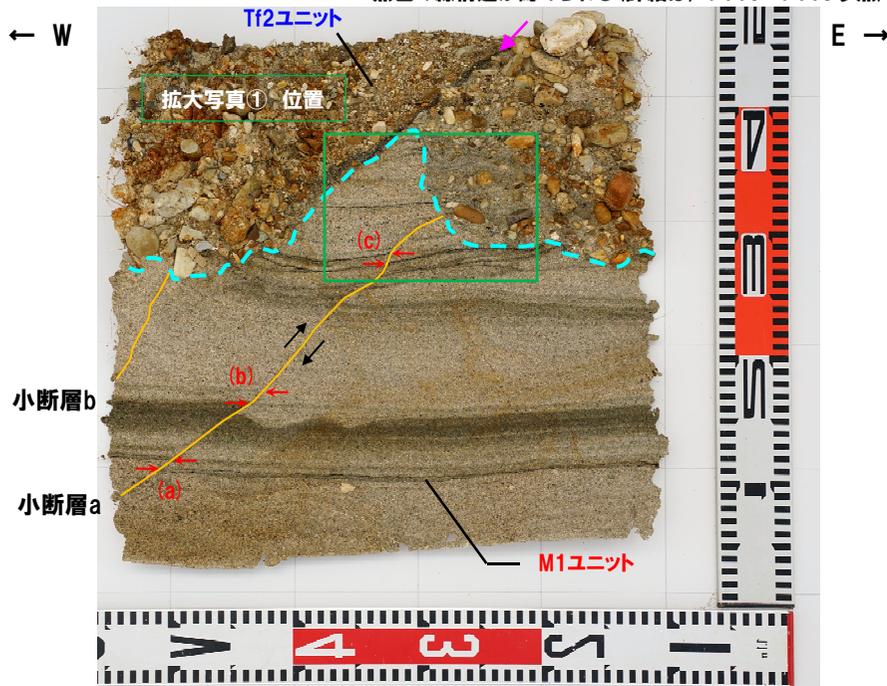
①-7 小断層上端付近の詳細観察-北側壁面追加はぎとり転写試料(3/5) -

一部修正 (R2/8/7審査会合)

【観察結果】

- 本はぎとり転写試料は、M1ユニットにおいて、小断層による葉理のズレがTf2ユニットの基底面直下で認められること及びTf2ユニットは砂礫層であるため、Tf2ユニットの基底面直下の変位量が小さい場合においても、小断層による変位・変形の有無が確認できる比較的細粒な層相を呈する断面である。
- F-1断層に関連する小断層は、M1ユニットに変位を与えており、Tf2ユニットの基底面直下まで剪断面が連続し、変位が認められる。
- 小断層に顕著な見かけ変位量の減衰は認められない。
- Tf2ユニットの基底面に、小断層による変位は認められない。
- Tf2ユニット中の比較的細粒な層相を呈する箇所に、剪断面は認められない。
- Tf2ユニットに、堆積構造の乱れは認められない。

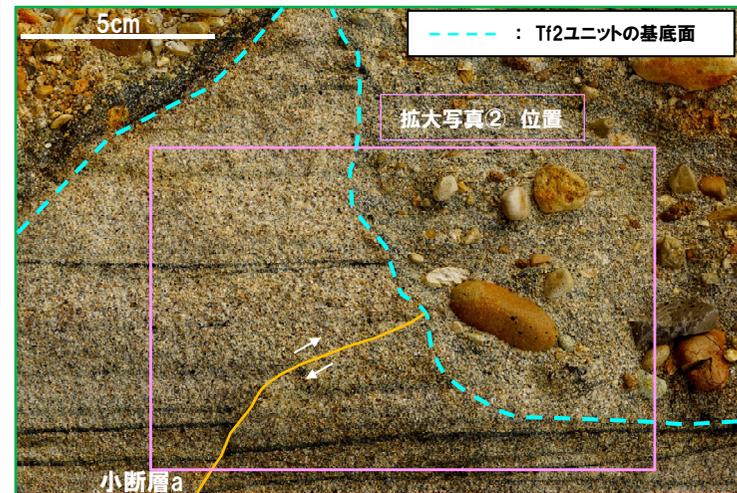
黒色の線構造が認められる(詳細は、P110~P119参照)。



はぎとり転写試料 写真(左右反転)(解釈線あり)

← : 見かけ変位量の計測箇所(砂層中の葉理のズレ)

見かけ変位量 : (a) 約13mm
(b) 約13mm
(c) 約10mm



小断層a上端付近 拡大写真①(左右反転)(解釈線あり)

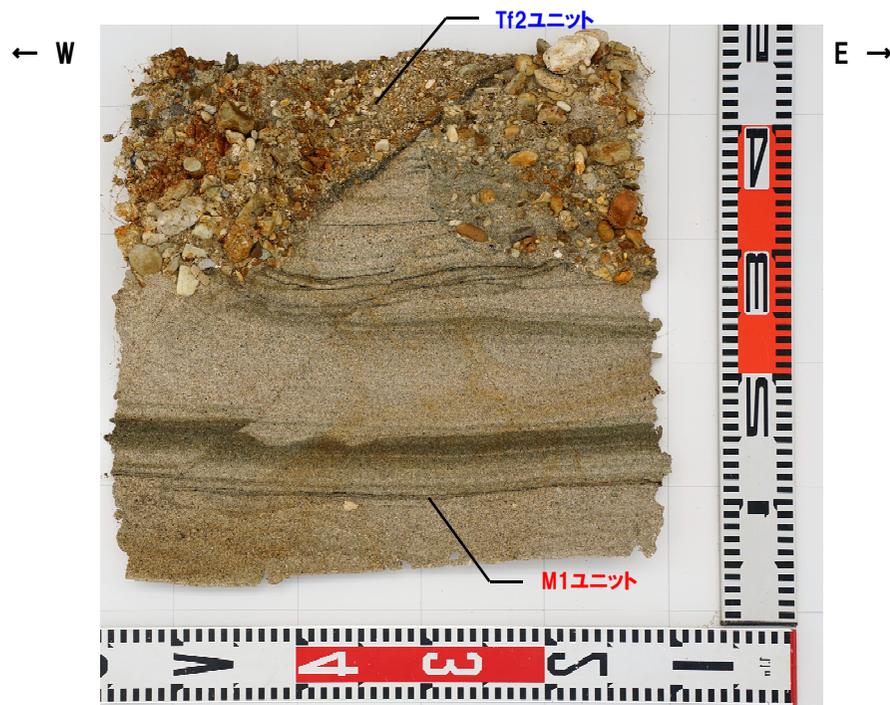


小断層a上端付近 拡大写真②(左右反転)(解釈線あり)

開削調査箇所(北側)

①-7 小断層上端付近の詳細観察-北側壁面追加はぎとり転写試料(4/5)-

再掲(R2/8/7審査会合)



はぎとり転写試料 写真(左右反転)(解釈線なし)



小断層a上端付近 拡大写真①(左右反転)(解釈線なし)



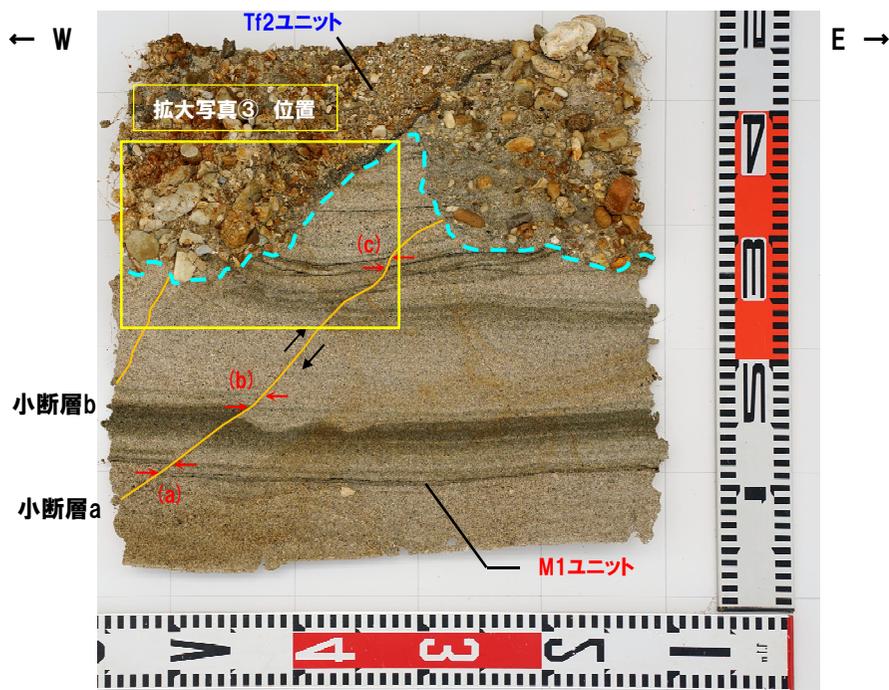
小断層a上端付近 拡大写真②(左右反転)(解釈線なし)

開削調査箇所(北側)

①-7 小断層上端付近の詳細観察-北側壁面追加はぎとり転写試料(5/5) -

一部修正(R2/8/7審査会合)

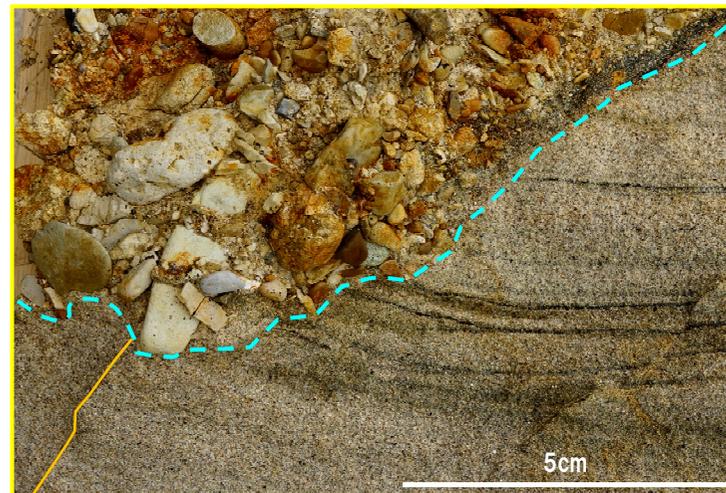
----- : Tf2ユニットの基底面



はぎとり転写試料 写真(左右反転)(解釈線あり)

← : 見かけ変位量の計測箇所(砂層中の葉理のスレ)

見かけ変位量 : (a) 約13mm
(b) 約13mm
(c) 約10mm



小断層b 小断層b上端付近 拡大写真③(左右反転)(解釈線あり)



小断層b上端付近 拡大写真③(左右反転)(解釈線なし)